

## 民謡はふるさとの応援歌

…… 吉田 榮伸

(夏井出身/神奈川支部)

東日本大震災および原発事故の復旧・復興に取り組んでいるふるさとの皆さんに心から応援、お見舞いを申し上げます。

高校の同級生が、いわき市、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町などに住んでおり被災しました。その中で、特に原発事故により数名が先の見えない避難生活をしており、大震災の後2回ほど同級会を開き激励しました。

天変地異による地震、津波はまだしも、人間が建設した原発による事故被害は許されるものではないと思います。国を挙げて代替エネルギーへの変換と災害対策の促進を早急にお願ひしたいです。

人間は現在の状況がどんなにひどくとも、トンネルの向こうに期待や希望という明かりが見

えていれば、大抵のことを我慢できる動物であるとも言われています。ストレスをためず、プラス志向で前進しましょう！

日々の生活でストレスを感じない方策に・快眠・快尿・快食・快便・快労・快汗・快声・快尽・快愛・快精・快笑・快夢などがあります。私はストレスの解消策として趣味の民謡を唄うことにしています。「腹式呼吸でお腹から声を出す」のが秘けつで健康維持のためにもお勧めします。

30歳代から約10年間、プロの民謡歌手から手ほどきを受け、名取をいただきました。今では少々衰退気味の民謡ですが、日本が工業化する昭和40年代頃までは、各地の風土や粘り強さ、力強さの加わった「仕事唄」として盛んに唄われ、発表会、大会

コンクールも数多く行われました。農業では、田ならし唄、田植え唄、田の草取り唄、稲刈り唄、籾摺り歌、俵つみ唄、麦屋節、麦打唄、茶摘み唄、豆ひき唄、粉ひき唄、草刈唄など、林業では、木挽き唄、山唄、萩刈り唄など、漁業では、大漁祝い唄、追分、舟唄など、荷役業では、荷方節、馬方節、牛追い唄など、そのほかでは、炭鋸節、盆唄、子守唄、祝い唄、石刀節など数多くの民謡があります。これらは、わがふるさとも日常盛んに唄われ、踊りも加わり盛り上がったものでした。

「民謡は心のふるさと」「民謡はふるさとの応援歌」です。日本の伝統芸能・民謡を唄いストレスを解消しましょう！



小野町物産市協議会  
直売所おのいちが教育のために寄付

小野町物産市協議会直売所おのいちが、子どもたちの教育に役立ててほしいと町に22万8,456円を寄付しました。寄付は町長室で行われ、吉田伸也会長から町長に寄付金を手渡されました。このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



町長に寄付金を手渡す吉田伸也会長(右)